# 代々木病院の理念

づく医療・介護の実践

発行 医療法人財団東京勤労者医療会 1 部60円 TEL(3404)7661

E-mail address yo\_sosiki@tokyo-kinikai.com 友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

受けました。

によれば、多くの方が

松井保子総看護師長

をボランティアで引き 分の炊き出し用の洗米

「隼越し派遣村」で健康相談

り、寒さとなれない生 ました。高血圧や糖尿 風邪症状を訴えてお の人、00歳代の息子さ ず皮膚がボロボロ状態 る人、長期間入浴でき 病の治療を中断してい 活から体調を崩してい んが派遣切りで寮を追 後重い肺結核と診断さ れ、代々木病院に入院 どりついたというケー 整脈もありました。 すぐに肺結核が疑わ スもあり、母親は衰弱 親と2人で路上生活を していて、派遣村にた しきって、両膝痛、 また、派遣村にきて

も、薬品、衛生材料の

しました。代々木病院

の職員が自主的に参加

委員会に加盟はしてい

課の職員が毎朝数百人 提供などのほか、栄養

をしていたかを全然覚 と急激な生活環境の変 た。精神科のある当院 えていない人もいまし 化で、自分がどこで何 に入院後、外来通院と

井上院長は、「病院

まいを失ったショック を深めながら医療活動 ます。さらにその理念

いたそうです。 国立病院に転院し を診療するだけでなに来てくれる患者さん い」といいます。

生活を支えようとがん 神医療など、もっとも 体としてとりくみた 窮者の支援を民医連全 も受けられない生活困 困難な人たちの医療と 職業病、透析医療、 者、公害被害者、労災 代々木病院は被爆

ットカフェなど転々と た人もいました。その して派遣村にたどり着 八は12月15日に突然首

ちを支援する「年越し派遣村」(8年12月31日~9年1月5日

「派遣切り」などで職と住まいを同時に失って困窮する人た

入所しました。代々木病院からは井上均院長など職員が現地 朝、日比谷公園)は、国を動かし、〝村民〟 たちは公共施設に

での診察、健康相談などの支援を行いました。ボランティア

としてかけつけた大葉清隆事務長の報告です。

井上院長が診察した ばってきた歴史があり 医療を受けたくて

「年越し派遣村」で健康相談に応じる代々木病院の井上均院長

ない。私たちに忘却 生きていくコツでも ぐに忘れる。それは、 来事を次のニュース あろう。痛ましい出 早くも如月である。 ある。派遣村で騒が る。人生そのもので ない」「欲望を抑えら かが記憶に残さねば 生きていたことを誰 続ける。「その人が あるが本当は「罪」な の後どうなったので れない」の四苦であ ある死者を悼む旅を ってもいい▼「悼む れた1月は終わり、 ・」という言葉が不 春秋)は、赤の他人で 九つめの「苦」とい のではあるまいか。 によって私たちはす 派遣村の人たちはそ [](天童荒太:文芸

手術台

苦しているらしい▼ 2-3枚であった うか。明治神宮のお った。どこも四苦八 賽銭箱は10円玉ばか かっているのであろ (5日 午前11時)。 ヤリと笑ってしま 千円札はほんの という。で ちかい、不 況の反映だ で、1億人 史上最高 は神仏は儲 初詣客は

「命は平等」の看護を充実発展させたい! 読者のみなさん、看護師をぜひご紹介ください。

- ■安心して復職できるよう ります。
- ■条件にあわせた勤務可
- ■勤務・待遇等病院規定で
- 処遇
- 支援する復職セミナーあ ■希望者は電話の上、履歴 書持参でご来院くださ

い。

## 勤医会 東葛看護専門学校の紹介

う」「求めても得られ

代々木病院が所属する医療法人財団東京勤労者医療会が設く 置主体の勤医会東葛看護専門学校では、民医連が掲げる「い のちの平等」や「医療は患者と医療者の共同の営み」という 医療理念もとづいて、国民の期待に応えうる民主的看護師育 成に日夜情熱を傾けています。代々木病院でも卒業生がいき いきと働いています。奨学金制度など資料請求は下記まで。

◆問合先 ☎04-7158-9955 E-mail kangaku@tokyo-kinikai.com

四苦は生老病死であ

る。八苦は加うるに 愛する人との別れ」 嫌な人とも付き合

問い合わせ先 代々木病院総看護師長室